

大學生日語學習需求及相關影響要因調查研究
— 以非日語專攻者為對象 —

林麗娟

國立嘉義大學 外國語言學系

摘要

本研究針對臺灣大學生之日語學習近況，透過問卷調查，了解其學習需求內涵及其相關影響要因所在。調查對象為六所大學非日語專攻之日語學習者 1200 人，統計分析以「SPSS」電腦軟體進行之。

對學習者進行“需求分析”，不但可蒐集課程設計方面有用資訊，也是實施教育活動過程中不可或缺之重要程序；再者，亦有助於學習者明確掌握學習目標，提升其學習動機。

基此觀點，本研究同時採用文獻探討與統計量化研究法。要言之，探討大學生日語學習環境之概況，分析其日語學習需求之內涵與特徵，同時並檢視相關影響要因及其影響程度。藉此客觀審視學習需求之因應課題與問題點，並提出具體改善對策。

關鍵字：臺灣、日語教育、大學生、學習需求、調查分析

日本語の学習ニーズ及びその関連要因に関する調査分析 —非専攻日本語大学生を中心に—

林麗娟
国立嘉義大学 外国語学科

要 旨

本研究は、台湾における大学生の日本語学習において、その学習ニーズの特質及び関連影響要因の内実を「質問紙法」で検討したものである。調査対象は、六大学の非専攻日本語学習者 1200 名である。統計処理においては「SPSS PC」を通して、「度数集計法」、「 χ^2 検定法」、「クロス分析法」等を用いた。

これまでの先行研究で示されたように、学習者に対する“ニーズ分析”は、コースデザインの最も重要な情報収集で、教育全体の出発点となる不可欠の作業である。その上、学習ニーズ分析を通して、学習者に自らの学習目的を明確に把握させる効果が大きく、学習の動機付けになる場合も多いと注目される。

こうした教育的視点に基づいて、本研究は史的文献に関する質的分析と統計手法による量的分析を行った。要するに、日本語の勉強志向及び学習ニーズに関する内実を細かく析出すると同時に、学習ニーズとかがわった影響要因、例えば「個人」、「家庭」、「学校」、「社会」等との関連状態も含んで検証した。これをもとに、学習ニーズに対応する上での課題及び問題点を明らかにし、よりよい政策方針や課程内容の改善策を提案してみたい。

キーワード：台湾、日本語教育、大学生、学習ニーズ、調査分析